



平成30年度全日本選手権大会

11月12～14日
日立市池の川さくらアリーナ

女子快撃は、ジュニアナショナルチームと中国電力が快撃で対戦。両チームは予選リーグでも対戦し、ジュニアナショナルチームが勝利していた。試合は打点の早いラリーの応戦になるが、最後はジュニアナショナルチームが勝利し、初優勝を飾った。3位には、選手権会、サンリツが入った。

女子快撃 ジュニアナショナルチーム

快撃ですぐに決めます。普段ジュニア選手でも快撃を日行っているため、これからの期待が大きいと見られています。

Women's

快撃!! JNTが優勝

ジュニアナショナルチーム

準優勝 中国電力



土田純佳
速く打ちながらコース取りの打点の早い打球が快撃の決め手



成木美緒
速く打ちながらコース取りの打点の早い打球が快撃の決め手



松本亜由 バックハンドで快撃を打ち、フォアハンド攻撃に打ち勝つのがポイント、バランスが良かった



大塚幸司 両ハンドドライブが安定し、速く打ちながらコース取りの打点の早い打球が快撃の決め手



安藤佳 ショットと強打を合わせた快撃が、両ハンドでコートに打ち勝った



藤岡美乃 早い打球で快撃を打ち、速く打ちながらコース取りの打点の早い打球が快撃の決め手



平塚亜由 快撃に打ち勝つのがポイント、バランスが良かった

権大会 団体の部

平成30年度全日本選手権大会(団体の部)が、10月12～14日まで、日立市池の川さくらアリーナで行われた。



藤原直平 早い打球から両ハンドで快撃を打ち、速く打ちながらコース取りの打点の早い打球が快撃の決め手



古田尚 早い打球から両ハンドで快撃を打ち、速く打ちながらコース取りの打点の早い打球が快撃の決め手



田中健太 相手の打球を利したプレーと自分から仕掛ける打球がポイント



田中健太 相手の打球を利したプレーと自分から仕掛ける打球がポイント

男子は、リコーと東京アーツが快撃で対戦。最終となるリコーがラストで勝利し、初優勝を飾った。準優勝は東京アーツ、お次は、専修大、聖工大名電だった。

男子快撃 リコー

「日本リーグで優勝した時と同じような興奮感だったので、おもしろいと思います」と工藤選手



有馬大夢 「おもしろいと思ってやるのがいい」と工藤選手も試合中から楽しんでいる。プレーも非常に良く、チームの快撃に貢献

Men's

リコーが悲願の初優勝

準優勝 東京アーツ



村松健斗 快撃を打ちながら、両ハンド、快撃で打ち勝った。速く打ちながらコース取りの打点の早い打球が快撃の決め手



藤原直平 早い打球から両ハンドで快撃を打ち、速く打ちながらコース取りの打点の早い打球が快撃の決め手



田中健太 相手の打球を利したプレーと自分から仕掛ける打球がポイント

専修大



藤原直平 早い打球から両ハンドで快撃を打ち、速く打ちながらコース取りの打点の早い打球が快撃の決め手



古田尚 早い打球から両ハンドで快撃を打ち、速く打ちながらコース取りの打点の早い打球が快撃の決め手



藤原直平 早い打球から両ハンドで快撃を打ち、速く打ちながらコース取りの打点の早い打球が快撃の決め手



田中健太 相手の打球を利したプレーと自分から仕掛ける打球がポイント

聖工大名電



大塚幸司 両ハンドドライブが安定し、速く打ちながらコース取りの打点の早い打球が快撃の決め手



安藤佳 ショットと強打を合わせた快撃が、両ハンドでコートに打ち勝った



藤岡美乃 早い打球で快撃を打ち、速く打ちながらコース取りの打点の早い打球が快撃の決め手



田中健太 相手の打球を利したプレーと自分から仕掛ける打球がポイント

BEST4

BEST4

BEST4

BEST4

BEST4